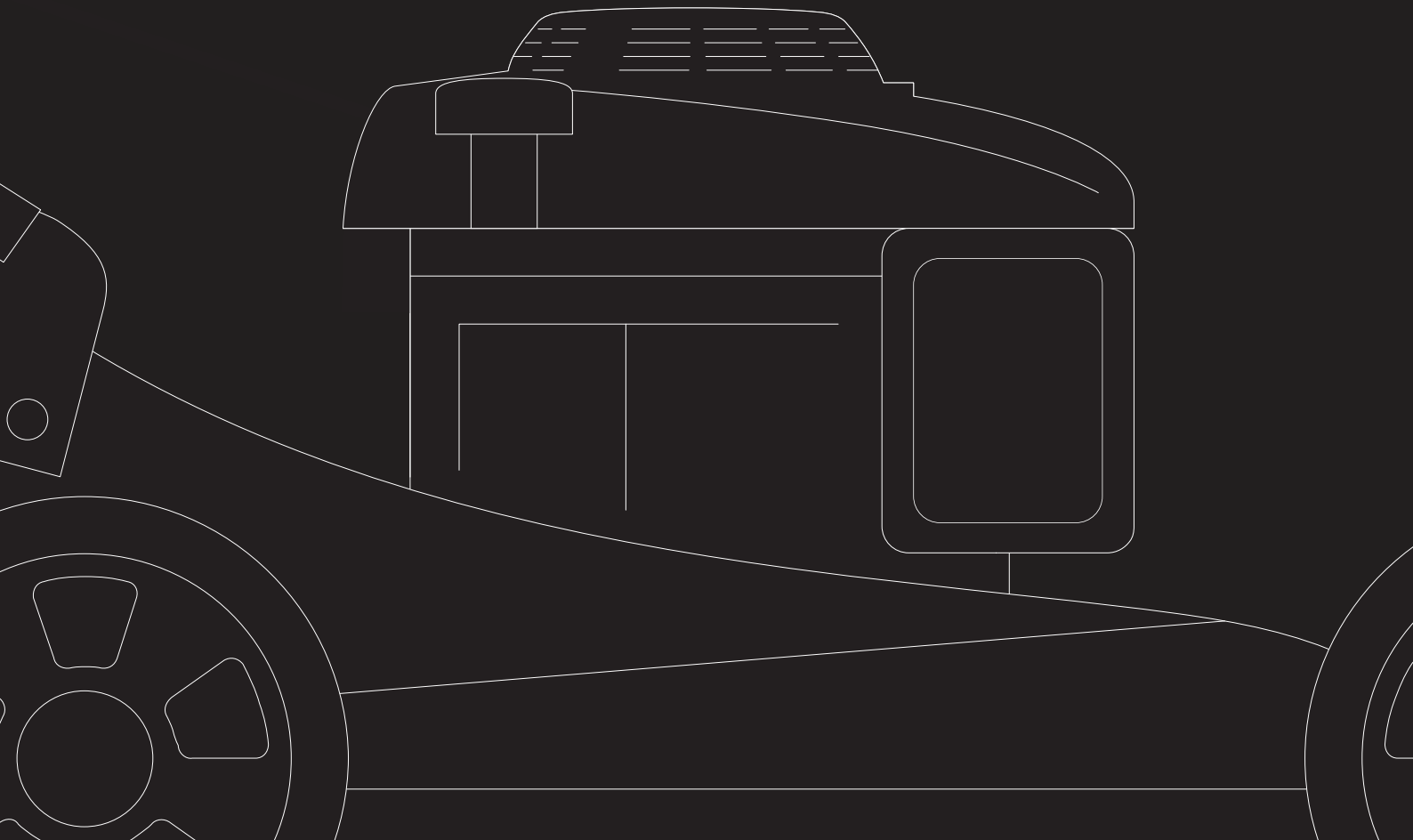




自走式芝刈り機
取扱説明書

GC480PRO-B OPERATING MANUAL



はじめに




この度は、当社の自走芝刈り機 GC480PRO をご購入いただき厚くお礼申し上げます。
本製品がいつまでもお役に立ちますよう、取扱い説明書を十分お読みの上、ご使用ください。
メーカーは、機械の用法、運転、点検、整備を直接監督指導することはできません。
正しく安全に作業を実施するのは、あなた自身です。
尚、この取扱い説明書で述べていることの他にも作業によっては、
法令、条例、規則や保険条件などが適用されることがありますので十分ご注意ください。
また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出して
お読みください。
尚、仕様変更などにより本製品と取扱い説明書の内容が異なる場合もありますので
あらかじめご了承ください。

▲ 安全 第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ▲ の表示がある警告ラベルは人身事故の危険が
考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。なお、ラベルが汚れている場合は
石鹼水で洗い、柔らかい布で拭いてください。汚損や紛失したラベルは、お買い上げの販売店
に注文し必ず所定の位置に貼ってください。ラベルが貼付されている部品を新部品と交換する
ときは、ラベルも同時に交換してください。

注意表示に関して

この取扱い説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項に関して
次のように表示しています。

-  **危険** …… 注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことになるものを示します。
-  **警告** …… 注意事項を守らないと、死亡または重症を負う危険性があるものを示します。
-  **注意** …… 注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示しています。
- 重要** …… 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれがあるものを示しています。
- 補足** …… その他、使用上役立つ補足説明を示します。

もくじ

▲	安全作業のために	3
1	サービスと保証について	7
2	各部の名称	8
3	組み立て方法	
1	内容物の確認	9
2	芝刈機の組み立て	9
3	バッテリーの充電方法	10
4	グラスバグの組み立て	12
4	操作の前に	
1	作業前の点検	13
2	燃料の点検	13
3	エンジンオイルの点検	14
4	エアクリーナーの点検	14
5	刈刃の点検	15
6	グラスバグの点検	15
7	各部の締付けの点検	16
8	バッテリーの点検	16
9	始動スイッチコードの点検	16
5	注意事項	
1	安全な芝刈り作業の実施	17
6	操作方法	
1	エンジン始動	19
2	停止	19
3	刈高の調整	19
4	芝刈り	19
5	グラスバグ集草	20
6	刈った芝をその場に落とす（マルチング）	20
7	デッキ内清掃	20
7	メンテナンス	
1	重要性	21
2	定期点検	22
3	刈刃交換	22
4	エンジンオイルの交換	23
5	スパークプラグの交換	24
6	エアクリーナーの交換	24
7	走行ワイヤーの調整	25
8	長期保管をする場合	
1	キャブレター内の燃料排出	26
2	バッテリーの補充電	26
9	仕様	27
	パーツリスト・保証書	29

! 安全作業のために

1 安全 5 憲章

安全に作業するための基本です。作業前には復唱し守ってください。

- ① 作業開始前に仕業点検をおこないます。
- ② 道路は走行しません。
- ③ 路肩・崖地などを走行するときは、転落などに注意して走行します。
- ④ 点検整備するときは、必ずエンジンを止めておこないます。
- ⑤ 補助者と共同作業をおこなうときは、声をかけあって合図をし、安全を確認します。

これ以外にもぜひ守って頂きたい注意事項を本項の”安全作業のために”でまとめて取り上げておりますので、よくお読みいただいて必ず守ってください。

2 安全作業のために、次のことがらを必ず守ってください。

本製品（今後は本機と呼びます）を使用する前に、必ずこの取扱い説明書並びにエンジンの取扱い説明書をよく読み、十分理解した上で安全な作業をしてください。

ちょっとした油断、不注意から事故を起こさないため、次の注意事項は特に注意して常に安全に作業してください。



作業をはじめる前に

1 安全な服装で！

服装はキチンとした、だぶつきの無い活動的なものを着用し、ヘルメット、安全靴や長靴を着用の上、作業に適した安全防護具を使用してください。

また、作業中の安全を考慮し、ラジオあるいはミュージックヘッドホンなどを使用しないでください。



2 必ず始業点検を！

本機を使用される前に必ず始業点検を実施してください。

- ① 各部の油量及び漏れの点検
- ② 各部の油脂状態
- ③ 各部のボルト、ナットのゆるみ点検及び増し締め
- ④ 各レバー類の動きが正常かどうかの点検
- ⑤ 電気配線の点検など

※ 始業点検により不具合が発見された場合には、直ちに補修などの措置を講じてください。

絶対に、不具合・異常のある状態で使用してはいけません。

3 夜間走行・作業禁止!

夜間に走行・作業をしてはいけません。

4 作業者の制限!

1) 次に該当する人は、本機の走行・作業に従事しないでください。

① 酒気を帯びた人 ② 若年者 ③ 未熟練者

④ 過労、病気、薬物の影響その他の理由により、正常な走行・作業ができない人

⑤ 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供

2) 走行・作業が続く場合には、健康に留意し、適当な休息と睡眠をとってください。

妊娠中の方は、作業に従事しないでください。

5 目的以外使用の禁止!

本機は芝刈り以外の目的のために使用すると、機械の安全性が損なわれる場合があります。

危険ですから本機に人や動物を乗せてはいけません。

6 改造などの禁止!

本機の改造は危険ですので絶対におこなってはいけません。

故障の原因になるばかりか人身事故にもつながります。

7 機械を貸与する際の注意!

本機を他人に貸す場合は、運転・操作方法などをよく説明し取扱い説明書を手渡してください。

また借りた人が作業前に取扱い説明書をよく読み、運転・操作方法を十分理解してから作業を開始するように指導してください。

8 グラスバッグや排出カバーの確認!

グラスバッグや排出カバーを指定の操作方法のやり方以外で取りはずして作業しないでください。

刈取った芝や小石などが飛び出し大変危険です。また、グラスバッグや排出カバーを取り外す時は、一度エンジンを停止してください。グラスバッグに擦り切れたり穴が開いている、縫い目がほころびている物、排出カバーに割れやひびがあるものについては速やかに新品に交換してください。

9 密閉室内での作業の禁止・換気に注意!

エンジンは有毒ガスを発散しますので、密閉した室内又は換気の悪い場所で使用してはいけません。排気ガスが空気を汚してガス中毒をおこす危険があります。換気には十分注意してください。



10 火気厳禁!

燃料の補給時や潤滑油、オイルなどの給油・交換時は、エンジンを止めてください。また、火災や引火爆発のおそれがありますので、くわえタバコなどの火気は絶対に近づけてはいけません。こぼれた燃料や潤滑油が高温部で着火する可能性がある場合は、エンジンが冷えきってから補給してください。



11 ヤケドに注意!

エンジン運転中および停止直後のエンジン・マフラなどは、高温のため触れるとヤケドの危険があります。点検・整備などをおこなう場合は、エンジンの各部が十分に冷えてから（停止後30分以上）作業してください。

作業中

1 人や物を乗せる走行禁止!

本機などに乗って運転したり、人や物を乗せて走行しないでください。転落などの傷害事故を起こすおそれがあります。

2 エンジン始動時の注意!

エンジン始動前に必ず次の点を確認してください。

- 走行クラッチレバーを解放『OFF』（止まる）の位置にあることを確認してください。
- 本機の周囲に人がいないことを確認してください。
- エンジンの周囲に可燃物がないことを確認してください。

3 回転部に注意!

エンジン回転中は、刈刃やVベルトなどの回転部分に手や足などを近づけないでください。巻き込まれる危険があります。点検・整備を行う場合は必ずエンジンを停止してから行ってください。

4 異常を感じた時の措置!

音や振動などで本機に異常を感じたときは、直ちに本機を安全な場所に止めてエンジンを停止させ、点検・修理などの適切な処置をとってください。

5 傾斜地の走行禁止!

傾斜地での芝刈りは、草に滑って滑り落ちたり転倒する可能性があります。危険ですので傾斜地での芝刈りには使用しないでください。

6 刈刃異物接触時の注意!

作業中本機や刈刃が障害物に当たったときはすぐにエンジンを停止させ、万一の始動を防止するために点火プラグキャップをはずし損傷の有無を調べてください。損傷があった場合修理しないで再始動すると、損傷のある部品が飛び出すなどして大ケガをするおそれがあります。

7 刈った後の草や木の葉を蓄積注意!

本機に草や木の葉を蓄積させたまにしないでください。草や木の葉は燃えやすく特にエンジンの近くにあると火災の原因となります。

8 運転中の刈刃高さ調整の注意!

エンジン運転中は、刈刃の高さの調整をしないでください。誤ってレバーを操作されると本機が動き出し大ケガをするおそれがあります。

9 長時間連続作業時の注意!

過労による事故防止のため、長時間連続の作業をせず途中休憩を取ってください。エンジンをかけたまま本機を芝の上に放置しないでください。マフラーの熱で芝をこがしてしまうばかりではなく、誤って操作されると思わぬ事故の原因になることがあります。

作業が終わったら

1 終了時点検の実施を!

作業終了後に本機を清掃し次の作業の安全を確保するため、各部の点検をおこない異常が認められた場合は、補修などの措置を講じてください。

2 本機の格納は冷えてから!

本機を格納するときは、エンジンやマフラーなどの高温部分が冷えてから燃えやすい物が近くにない場所に格納してください。乾いた草などの燃えやすい物の近くに駐車すると火災の原因となり危険です。



3 点検・整備のときは適正な工具の使用を!

点検・整備のときは、適正な工具を使用してください。間に合わせの工具で点検・整備をおこなうと、作業中のけがや整備不良による事故の危険性があります。

4 本機の水洗い禁止!

本機は水洗いしないでください。洗浄する場合は刈刃部のみホース注水口にホースを接続し洗浄し乾燥して保管してください。本機に水をかけると故障の原因となります。

5 長期保管前に燃料タンク、キャブレターの確認注意!

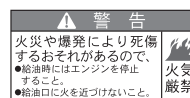
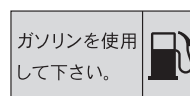
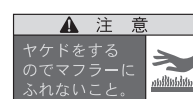
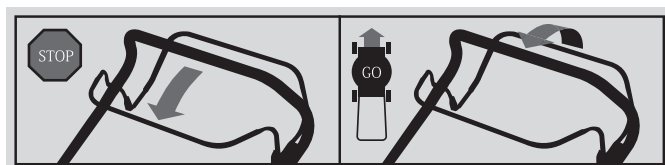
長期保管前には、燃料タンクの内の燃料とキャブレターの燃料を抜き取り本機を火気の無い場所に保管してください。また抜いた燃料は引火しやすく火災や爆発の危険があります。所定の燃料タンクなどに入れ、保管してください。

表示ラベルとその取扱い

1 表示ラベルの手入れ

本機には安全についてのラベルが貼ってあります。良く読み理解した上で運転してください。

- ① ラベルが汚れている場合は石鹸水で洗い、柔らかい布で拭いてください。
- ② 汚損や紛失したラベルは、お買い上げの販売店に注文し所定の位置に貼ってください。
- ③ ラベルが貼付されている部品を新品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。
- ④ 新しいラベルを貼る場合は、貼付け面の汚れを完全にふき取り、乾いた後元の位置に貼ってください。



1

サービスと保証について

1

製品保証

本製品には、保証書が添付してあります。詳細は、保証書をご覧ください。

2

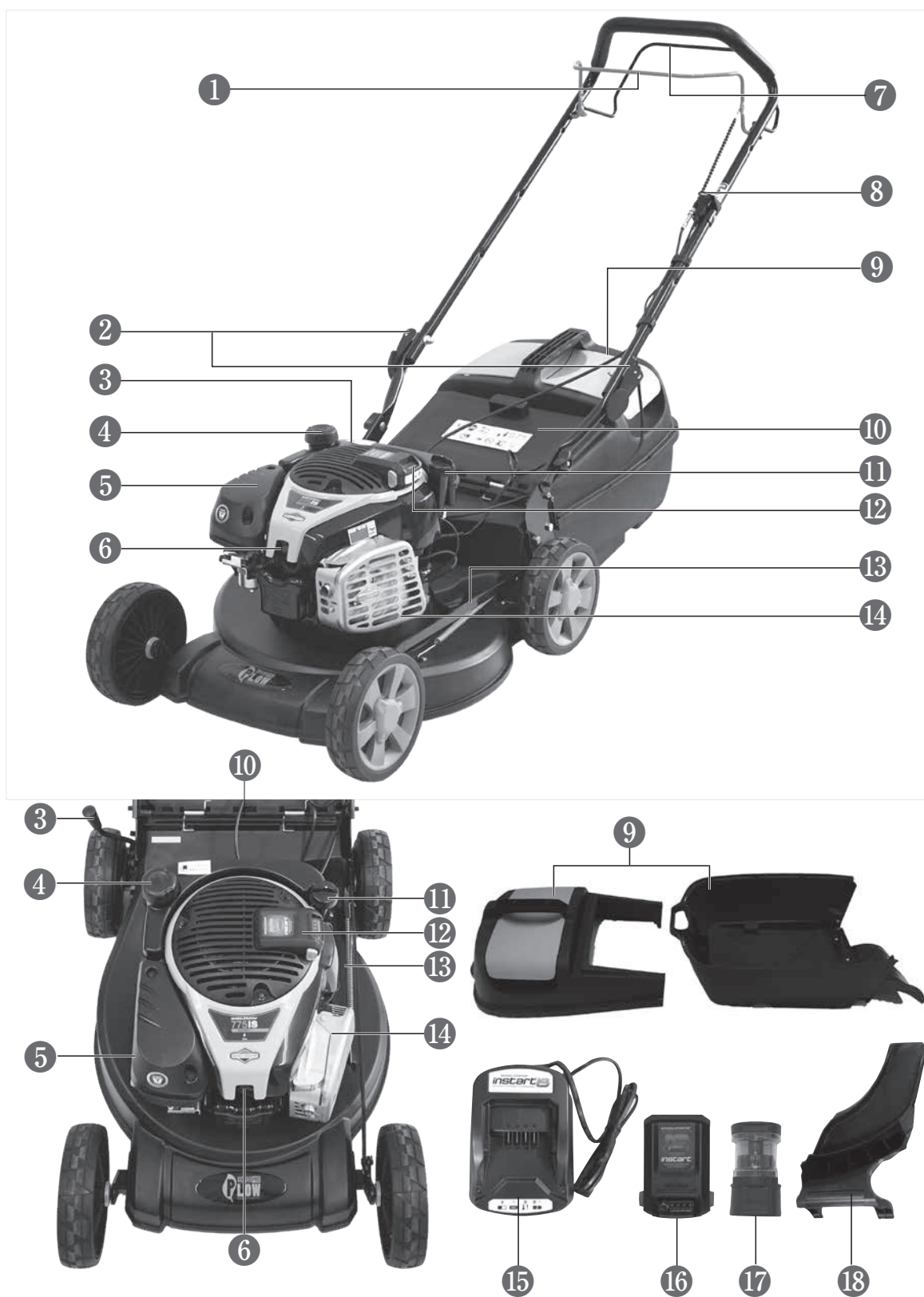
サービス（相談窓口）

ご使用中の故障やご不明な点およびサービスについてのご用命は、ご購入された販売店または弊社営業所にお気軽にご相談ください。

その際、本機の型式と製造番号・搭載エンジンの型式・ご購入日などをご連絡ください。

2 各部の名称

1
名称



- ① 刈刃クラッチレバー ② ハンドルグリップ式ノブ ③ 刈高さ調整レバー ④ 燃料給油口
 ⑤ エアクリーナーカバー ⑥ プラグキャップ ⑦ 走行クラッチレバー ⑧ 始動スイッチ
 ⑨ グラスバッグ ⑩ 排出口カバー ⑪ オイル給油口 ⑫ バッテリー充電器 ⑬ ホース注水口
 ⑭ マフラー ⑮ バッテリー充電器 ⑯ バッテリー ⑰ コンセント変換アダプタ
 ⑱ マルチング用中蓋

3

組み立て方法

1

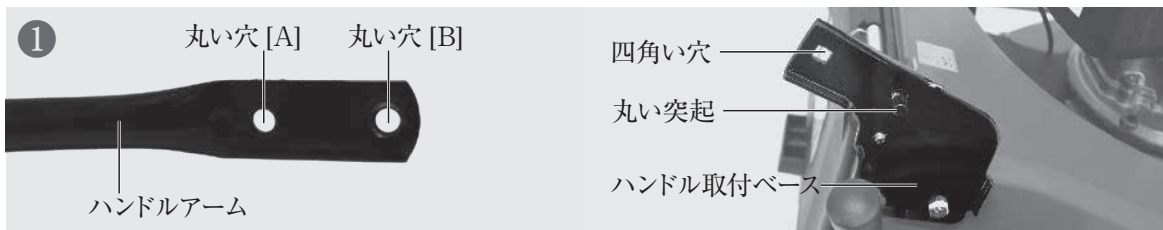
内容物の確認

No.	内 容	
1	本体	1
2	ガラスバッグ (上下に分割しています)	1
3	固定ボルト	2
4	ハンドル固定ツマミ	2
5	ワイヤー結束バンド (ハンドルアームに付いています)	2
6	バッテリー	1
7	バッテリー充電器	1
8	コンセント変換アダプター	1
9	取扱説明書	1

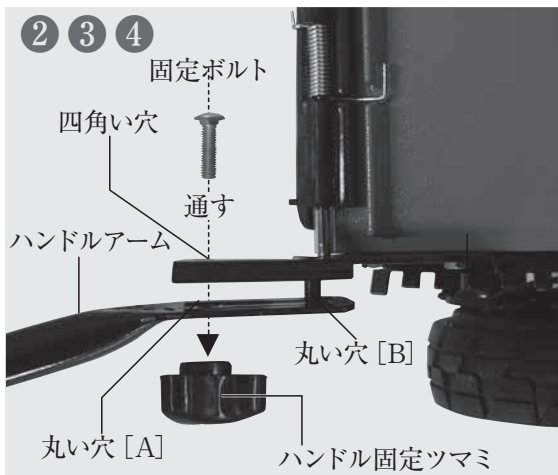
2

芝刈機の組み立て

■ ハンドルの取付



① 芝刈機本体のハンドル取付ベースの丸い突起に、ハンドルアームの丸い穴 [B] をはめ込みます。



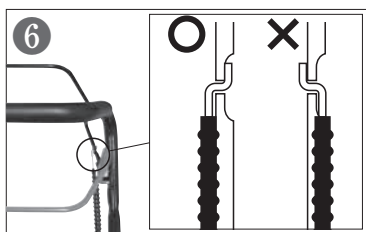
② ハンドル取付ベースの四角い穴と、ハンドルアームの丸い穴 [A] を重ねます。

③ 重なった穴に内側から固定ボルトを差し込みます。

④ 外側からハンドル固定ツマミをしっかり締めハンドルアームを固定します。

補 足

ワイヤーを取り付ける際にハンドルやアーム取付部にワイヤーが絡まないように注意してください。不自然な張りがあると正常に機能しなくなります。



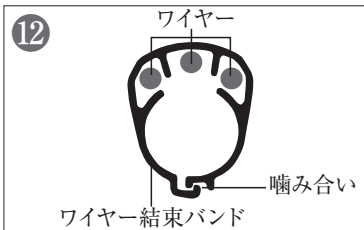
⑥ 刈刃クラッチレバー (橙色) に上側のワイヤー、走行クラッチレバー (黒色) に下側のワイヤーを図のように取りついていることを確認します。

⑦ ワイヤーがレバーから外れてしまっている場合は写真のようにワイヤーやハンドルを取り付けてください。

⑧ ハンドル右も写真と合わせて確認します。



- ⑨写真のようにハンドルにレバーが取り付けできます。
- ⑩折りたたまれているハンドル部分をゆっくりと持ち上げ、まっすぐに伸ばします。
- ⑪左右のクリップ式ノブを逆方向へ倒し固定します。(※クリップ式ノブは安全を考慮し固めに設定されています。ロック時は指などを挟んで怪我をしないようご注意ください。)



- ⑫ハンドルに付いているワイヤー結束バンドを外し、ワイヤーを内側に通し元の位置にはめ込みます。
- ⑬ワイヤー結束バンドをハンドルに取付けます。この時、結束バンドの噛み合い部分がしっかり噛合っているか確認してください。ワイヤー結束バンドで固定したのち、ワイヤーが突っ張っていないか確認してください。

8

■ バッテリーの取扱いについて

バッテリーの充電方法



注意 バッテリーを野外に置くなど、高温の状態では放置すると劣化することがあります。使用しないときは、室内の涼しいところに保管してください。

注意 バッテリーは充電し続けると劣化が早まります。充電が完了したら充電器から外してください。



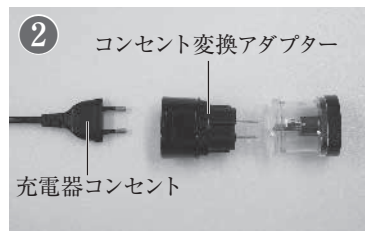
注意 頻繁に充電すると劣化が早まるため、充電量が半分になったら再充電をしてください。

注意 本機を使用しない場合でも、必ず6か月ごとの補充充電が必要です。充電を空の状態では放置したり、6か月ごとの補充充電を行わない場合、バッテリーの劣化により使用できなくなる場合があります。その場合の不具合については保証対象外となりますのでご注意ください。

注意 バッテリーは完全に残量がなくなってしまうと使用できなくなる場合があります。必ず完全になくなる前に再充電を行ってください。

■ バッテリーの充電

バッテリーは10分充電で10回の始動、1時間の充電で50回の始動が可能です。充電は必ず一般家庭用の電圧100Vをご使用ください。長時間充電したまま放置するとバッテリーが早く劣化する場合があります。充電完了後は速やかに充電器から取り外してください。



- ① 芝刈機を使用する前にバッテリーを事前に充電しておく必要があります。バッテリー充電器、コンセント変換アダプター、バッテリーを用意します。
- ② 充電器のコンセントプラグはそのままでは国内の家庭用コンセントに接続できません。コンセント変換アダプターの透明部分のキャップ部分を外し、充電器のコンセントを接続します。
- ③ 家庭用コンセントにコンセント変換アダプターを差し込みます。



- ④ バッテリーについている保護シールをはがします。
- ⑤ 充電器にバッテリーをセットします。
- ⑥ 充電が開始されると充電器の赤ランプが点灯します。バッテリーに表示される充電残量ランプ(緑)により充電残量が確認できます。充電が完了すると充電残量ランプ(緑)は消灯し充電器の緑ランプが点灯するので、その状態になったらバッテリーを取り外してください。
- ⑦ 充電器に接続していない状態でもバッテリー残量確認ボタンを押すことで充電残量ランプ(緑)が5秒間点灯します。それによりバッテリーに残っている残量を確認できます。

■ 芝刈機へのバッテリーの取付け・取り外し

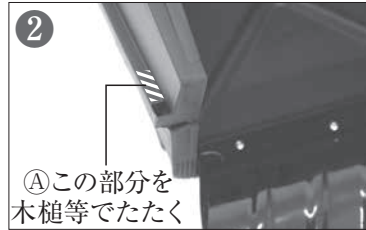


- ① 芝刈機のバッテリー取付口はエンジンの上部にあります。
- ② バッテリーは溝に合わせてスライドさせるように差し込みます。カチッと音がするまでしっかりと根元まで差し込んでください。
- ③ 取り外す際はバッテリーの両側にあるグレーのボタンを押しながらバッテリーを引き抜きます。

ガラスバグ組立方法についてご案内いたします。作業を開始する前にこの手引きをよく読んでから作業に取り掛かってください。工具の取り扱いには十分に注意し安全に作業を行ってください。

○用意するもの（木槌 or ゴムハンマー or プラスチックハンマーなど）

! **注意** ガラスバグの留め具は一度はめ込むと簡単に外れないような設計となっているため、一部が外れたまま組んでしまったり手順を間違えてしまうと、ガラスバグの組み立てが難しくなってしまいます。一つ一つの工程を確認しながら作業を進めてください。



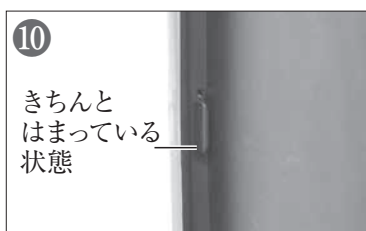
- ① ガラスバグは上下2つのパーツで構成されます。写真下が芝刈機に取付けする側（開口部）です。
- ② 上下パーツの開口部側の先端2か所を揃えます。揃った先端のAの部分の木槌等でたたいて留めます。この時、開口部以外の留め具は留めないでください。
- ③ 開口部の留め具が外れないようにガラスバグをひっくり返します。



- ④ 裏側から見て下面が下部パーツの淵が上部パーツの溝に収まっているか確認します。
- ⑤ 後ろにある取手部分がきちんと収まっているか確認します。
- ⑥ この時点でずれていたり、はまっていないと後の組み立てができなくなります。



- ⑦ きちんと収まっている状態で取手をしっかり握りそのままひっくり返します。
- ⑧ 取手を握りながら両脇の留め具部分を木槌等でたたいて留めます。
- ⑨ 最後に取手の両隣の留め具を木槌等でたたいて留めていきます。



- ⑩ 裏から見て留め具が写真のようにすべてはまっているか確認してください。
- ⑪ 留め具がすべてはまっていれば完成です。



組み立て方法は動画でもご覧いただけます。



<https://youtu.be/VkHl5nKqGpc>

4 操作の前に

1

作業前の点検

使用前に自分と周囲の安全をしっかりと確保しましょう。事前のチェックを行う事で怪我の危険性が大幅に軽減されます。このマニュアルをよく読み停止方法や操作方法を習得して下さい。

■ 本体の点検

安全に本体を末永くご使用頂くためには事前のチェックが非常に重要です。使用前に修理箇所や問題が見つかった場合はすぐに販売店に修理を依頼してください。

警告 この芝刈機を不適切に管理・保管したり修理を行わなかった場合、重大な故障や破損を引き起こす可能性があります。最悪の場合、使用者の怪我や事故が起きる可能性があります。それぞれの作業前に事前チェックを行い問題の改善を行って下さい。

■ 周囲のチェック

- 安全性を確保するため操作前に刈り取り予定の地面の状況を確認してください。
- 石や棒・釘やワイヤー等で刈刃が破損したり外れる可能性があります。障害物は事前に取り除いておいてください。
- 使用時は周囲を確認し人や動物やペット、特に子供は近付けさせないよう注意を払ってください。
- 芝の状態に合わせてスピードを調整し刈り取りを行ってください。

2

燃料の点検

危険 燃料を補充の際は必ずエンジンを止めてから補充してください。燃料は火災や引火爆発の恐れがあります。絶対に火気を近づけないようご注意ください。

- 燃料は購入してから1ヶ月以内の新鮮なレギュラーガソリンをご使用ください。
- 古いガソリンや混合燃料は決して使用しないでください。
- タンク内は清潔に保ち水が入らないようにしてください。
- 指定のガソリン以外のものを使用した場合のエンジントラブル・損傷や性能の低下はメーカー保証の対象外となります。
- ガソリンは塗装やプラスチック面に損傷を与える可能性があるためこぼれた場合はすぐに拭き取って下さい。こぼれた燃料による損傷はメーカー保証の対象になりません。
- 給油後のキャップを締める際は、あまり強い力で締めすぎると、キャップが変形したり、空気穴を塞いでしまう場合があります。振動で緩まない程度の力でキャップを締めてください。

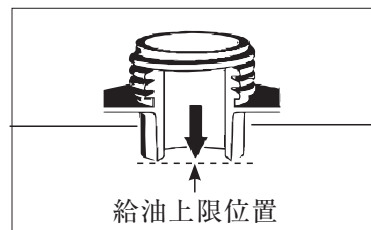
■ 点検

燃料給油キャップを外し、燃料があるか点検します。少ない場合は補給してください。

■ 補給

[使用燃料] 無鉛レギュラーガソリン

燃料給油キャップを外し、給油上限位置を超えないよう補給します。給油上限位置を超えて補充すると燃料があふれたり、空気穴を塞いでしまう場合がありますので給油上限位置を超えないようご注意ください。



重要 本機をご使用前には必ずエンジンオイルの確認を行ってください。エンジンオイルが適正に補充されていない場合、エンジン不調をおこすだけでなく本機の重大な故障を招く恐れがあります。また、その場合の過失による故障については保証対象外となりますのでご注意ください。

エンジンオイルを確認する場合は必ず平坦で水平な場所で、本体が水平であることを確認して行ってください。

■点検

エンジンオイル給油キャップを外し、ゲージ部のオイルを拭き取ります。キャップを締め込んでキャップを抜き取り、オイルゲージに付着したオイルでオイル量を確認してください。油面が下限を下回っている時は、上限までオイルを補給して下さい。

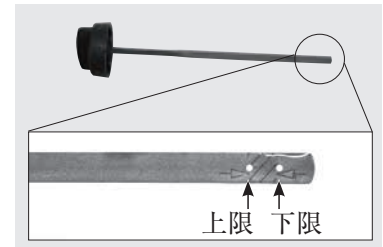
■補給

エンジンオイル給油キャップを外し、新しいオイルを上限まで補給します。オイル充填後はオイルゲージでオイル量が適量になっているか必ずご確認ください。

[推奨オイル]

API 分類SJ級以上の SAE10W-30 オイルをご使用ください。

補足 極端にエンジンオイルを過度に充填すると余分なオイルがエアクリナーから出てくる事があります。過充填の兆候としてマフラーから白または青の煙が出てきます。



エアクリナーがゴミやホコリで目詰まりをしていないかチェックをします。

重要 エアクリナーカバーの取付けは確実に行ってください。取付が悪いと振動でカバーが外れることがあります。エアクリナーが詰まっていたり、装着しないまま使用しますとエンジンの寿命が著しく早まる原因になります。

■点検

- ① エアクリナーカバーを外します。外す際、マイナスドライバーもしくは6mmのボックスレンチが必要です。
- ② エアクリナーの汚れを点検します。
- ③ 汚れがひどい場合は、エアクリナーの清掃または交換を行ってください。



■清掃

- ① エアクリナーを取り外し、内側からエア等で拭いてゴミを取り除いてください。汚れがひどい場合は新しいものと交換してください。
- ② こちらのエアクリナーは乾式です。湿気ったり、オイル等で汚れると目詰まりを起こします。必ず乾燥した状態でご使用ください。水やオイル等で汚れた場合は新しいものと交換して下さい。



乾燥した土や砂を含んだ場所で使用すると刈刃の摩耗が早いので頻繁に点検してください。



警告

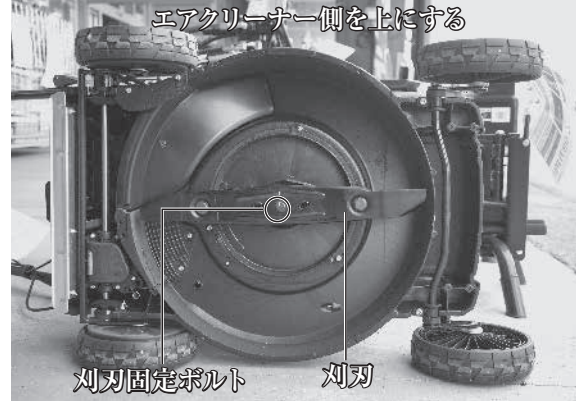
作業を安全に行うために、刈刃の作業前点検を行ってください。刈刃のゆるみ、摩耗、割れ、曲がりなどを放置すると、刈刃が折損して飛び出し、作業者や付近にいる人に当たるなどして重大な人身事故を招く恐れがあります。

交換刃のご購入・お求めは販売店にご相談ください。

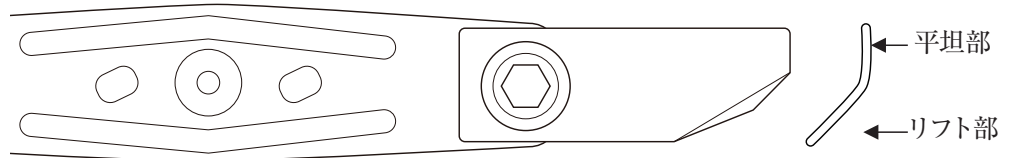
点検

- ① エアクリナー側（操作ハンドル側から見て右）を上に向けるように本体を傾けます。
- ② 刈刃とボルトなどに摩耗や変形や亀裂がないか確認します。
- ③ 併せてデッキへの亀裂等がないか確認します。

刈刃交換の詳しい説明については、「刈刃の交換」（23 ページ）をご参照ください。

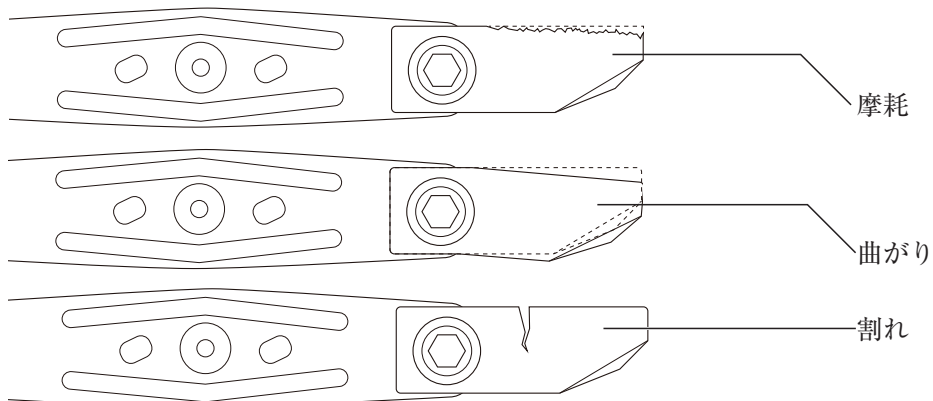


新品



要交換

下図のような状態の場合は刈刃を交換してください。交換刃については販売店にご相談ください。刈刃交換の詳しい説明については「刈刃の交換」（23 ページ）をご参照ください。



グラスバグは使用する度に摩耗や裂傷を受けます。



警告

極端に摩耗や破損したグラスバグは物が後方へ飛散し使用者を傷つける事があります。怪我をしないよう摩耗や破損したグラスバグはすぐに交換してください。

この芝刈機は掃除機のように刈刃からの風力がグラスバグへ吹き抜ける事で芝をグラスバグに送り込みます。芝でバグが約90%満たされると性能が低下するので使用前はもちろん定期的に空にしてください。

また、細かなほこりやゴミがグラスバグの両サイドからの排出を防ぐには芝をこまめに捨ててください。

本体各部のボルトにゆるみがないか点検します。

注意 刈刃固定ボルトを点検するときは、エンジンを停止し点火プラグキャップを外し、厚手の手袋を装着して作業にあってください。

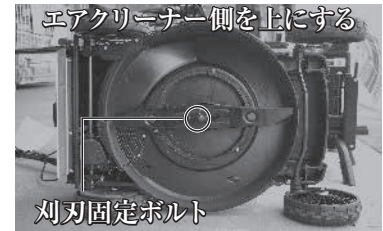
■点検

- 刈刃にガタつきがないか、刈刃固定ボルトの締付けは完全であるかチェックします。刈刃にガタつきがあったり、刈刃固定ボルトの締付けが不十分な場合は、トルクレンチ等で増し締めをします。

[締付推奨トルク]

49 ~ 59N-m

- ハンドル固定ツマミのゆるみがないかチェックします。ゆるみがあった場合はしっかりと増し締めをしてください。

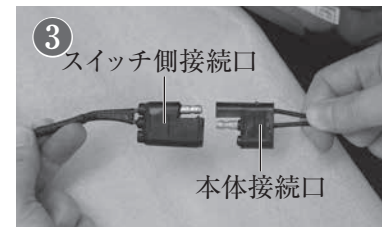
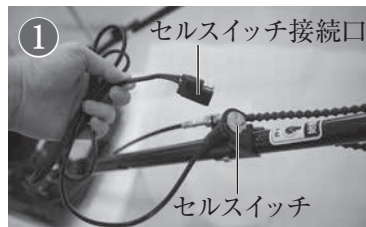


使用前にバッテリー残量があるのかを確認してください。残量がない場合は充電をしてください。充電は10分の充電で約10回、1時間の充電で約50回の始動が可能です。充電後長期間使用しない場合、事前放電をする場合がありますので、ご使用前に必ずバッテリー残量をご確認ください。



注意 長期間ご使用がなく、6か月ごとの補充電を実施されない場合、バッテリー残量が完全になくなってしまい、バッテリーが再充電できなくなる場合がありますのでご注意ください。バッテリーの交換、ご購入についてはご購入された販売元、もしくは発売元にご確認ください。

セルスイッチ接続口と本体接続口のコードがきちんと接続されているか確認してください。振動などでゆるくなっている場合や、外れている場合はセルが起動しません。ご使用前に必ず接続口がつながっていることを確認してください



- ① ハンドルについているセルスイッチに繋がっているコードの先端にセルスイッチ接続口があります。
- ② 本体のオイル注入口の下あたりに本体接続口があります。
- ③ スイッチ側接続口と本体接続口がきちんと接続されていることを確認してください。

この取扱説明書および注意喚起に従う事で、ほとんどの障害や物的損害を防ぐ事ができます。

■ 密閉空間での使用禁止

安全のため倉庫やガレージなど密閉された場所でエンジンの始動または操作をしないでください。

! **危険** 排気には有毒な一酸化炭素が含まれており、密閉空間では危険レベルまで上昇する事があります。
一酸化炭素を吸うと、意識不明や死亡の原因になる事があります。密閉された場所では決して運転しないでください。

■ 運転中は刈刃に近づかない

芝刈機の刈刃は非常に強力な指・手・つま先・足等を切断するパワーがあります。刈高の調整や刈刃まわりで作業する場合は必ずエンジンを停止させてください。

! **危険** 刈刃は鋭く、高速で回転します。回転刃はあなたを切断する事ができます。エンジン回転中は絶対に刈刃に近づかないで下さい。
また、メンテナンス時は必ずエンジンを停止させて下さい。

■ 芝面の確認

芝刈機は非常に強力な力で岩や石などを飛散させる事ができます。芝刈りの作業前には全ての棒・岩・石・配線など慎重に確認し、全て取り除いてください。
また、砂利の場所ではエンジンの始動を行わないでください。

補 足 刈刃に大きな損傷を与えると最悪の場合、エンジンが故障する可能性があり、メーカーの保証の対象外となります。

■ 本体の防護部品を適切に

デッキは石などがまわりの人やエンジンなどにはぶつからないよう設計されています。エンジン作動前にデッキなどの防護部品を確認してください。

■ 安全に燃料補給する

ガソリンは可燃性があり爆発する可能性があります。補給時は野外の換気の良い場所で行ってください。またガソリンは認可された携行缶で保管し、炎や花火を避けてください。

■ 保護具を着用する

長ズボンや目の保護具や安全靴を着用すると怪我などの危険性を減らす事ができます。

■ 使用しない時はエンジンを停止する

芝刈機から離れる場合は常に刈刃クラッチを離しエンジンを停止させてください。

■ 本体に衝撃を与えない

動かなくなった場合は足で本体を蹴ったり押ししたりしないでください。操作は全てハンドルバーで行ってください。

■ 障害物を取り除く

スプリンクラーヘッドや樹木の根元などの障害物には十分ご注意ください。刈刃が接触し大きな衝撃が発生したらエンジンを停止しすぐにスパークプラグキャップを外し本体または刈刃に損傷がないか確認します。衝突すると刈刃が損傷したりデッキなどの部品が損傷する恐れがあります。

警告 砂利、小石、造園資材等は刈刃に接触することがあり重大な人身傷害や事故を引き起こす可能性があります。危険を感じた場合は刈刃クラッチレバーを離しエンジンを停止してください。
偶発的な衝突による損傷はメーカー保証の対象外となります。

■ バッテリーの取扱い

注意 バッテリーを野外に置き、高温になると劣化することがあります。使用しないときは、室内の涼しいところに保管してください。

注意 バッテリーは充電し続けると劣化が早まります。充電が完了したら充電器から外してください。

注意 頻繁に充電すると劣化が早まるため、バッテリー残量が半分になったら再充電をしてください。

■ 本機の水洗い禁止



重要

本機使用後は水洗いしないでください。本機に水をかけると故障の原因となります。汚れた場合は乾燥したウエスなどでふき取ってください。刈刃部のみホース注水口からホースを接続し洗浄が可能です。洗浄後は必ず乾燥させた後、収納してください。

6

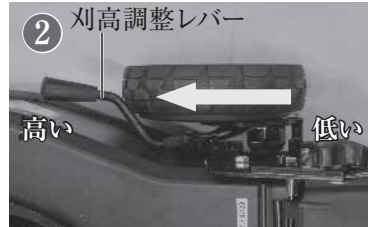
操作方法

1

エンジン始動

！ 危険 エンジン始動と同時に刈刃が回転しますので十分ご注意ください。

！ 警告 始動前には必ず（4項操作の前に13頁）を確認してから始動を開始してください。



- ① 芝刈機本体にバッテリーを取付けます。
- ② 刈刃調整レバーで刈高さが一番高い位置にしておきます。
- ③ 刈刃クラッチを右手で握ります。
- ④ 刈刃クラッチを握った状態で左ハンドル半ばにあるセルスタートボタンを押します。始動スイッチを押しエンジンがかかります。

補足 エンジンを始動するときはアスファルトなど芝のないところで始動してください。刈刃クラッチレバーを握らないとセルが回りませんので、必ず刈刃クラッチレバーをしっかりと握りながらセルボタンを押してください。

2

停止



刈刃クラッチレバーから手を離すとレバーが戻りエンジンが停止し刈刃の回転も停止します。

3

刈高の調整



刈高の調整は 20 ～ 80 mm までの8段階調整が可能です。高さの目安は芝や土壌の条件によって異なります。切断面の高さを調整する時は必ずエンジンを停止させてください。高さの目安がわからない場合は必ず一番高い設定から段階的に下げ刈高を設定してください。日本の芝は通常 30mm が一般的な長さです。

重要 長い芝の状態から一度に短く刈ろうとすると、刈刃に大きな抵抗がかかり、負荷によりエンジンが停止する場合があります。芝が長く伸びている場合は、2、3回に分けて段切りしてください。

4

芝刈り



刈刃クラッチレバーを握ったまま走行クラッチレバーを握る事で自走します。早歩き程度の速度で走行しますが、ゆっくり作業されたい場合は走行クラッチレバーを放し手押しでの作業をお勧めします。

重要 自走の際は走行クラッチレバーを必ずしっかりと握ってください。中途半端な握りの状態で使用すると故障の原因となります。

5

ガラスバッグ集草



排出口カバー

背面の排出口のカバーを開けガラスバッグを取り付けます。
この状態で芝を刈ると刈った芝はガラスバッグ内に蓄えられます。
ガラスバッグは最大で 60L の刈草を蓄えることができます。
ガラスバッグが刈草でいっぱいになりましたら、本体から取り外し任意の場所に排出してください。

6

刈った芝をその場に落とす（マルチング）



放出口カバー

マルチング用中蓋

マルチング（刈った芝をその場に地面に落としていく刈り方）する場合は背面の放出口カバーを開け、マルチング用中蓋を取り付けます。
この状態で芝を刈ると、刈った芝をそのまま地面に残すマルチング作業を行う事が出来ます。



ココにひっかける

7

デッキ内清掃



ホース注水口

ホース注水口に水道ホースを接続し、エンジンを始動しブレードを回転させることで、ブレードとデッキ内部を洗浄することができます。
芝の刈り取り後の洗浄メンテナンスとしてご使用ください。
（※洗浄後は完全に乾燥させてください。濡れたままだと錆の原因となる可能性があります。）

**警告**

本機は外装の水洗いはできません。ベアリングや各部署に水気が入ることにより不具合の原因となります。水洗いは必ずデッキ内のみの洗浄としてください。

適切なメンテナンスは事故や故障などのトラブルを防ぎ、また大気汚染の削減に役立ちます。

**警告**

不適切なメンテナンスや不具合があるまま使用した場合、深刻な誤作動を起こす可能性があります。

誤作動の中には使用者を傷つけたり、最悪の場合、命を落とすものがあります。取扱説明書の修理や点検と推奨事項とスケジュールを参照ください。

次のページには、芝刈り機の適切な維持管理を支援するためのメンテナンススケジュール、日常点検手順や基本的な工具を使用した簡単なメンテナンス手順が記載されています。特別な工具を必要とする困難な修理は専門の整備士にご依頼ください。メンテナンススケジュールは通常使用に適用されません。高負荷、高温、浸水、埃のような厳しい条件下で芝刈り機を使用される場合は修理店へご相談ください。

■安全のために

重要な安全対策を掲載しています。特定の修理を実行するかどうかは使用者が決定できます。

**警告**

不適切なメンテナンスや不具合があるまま使用した場合、深刻な誤作動を起こす可能性があります。

誤作動の中には使用者を傷つけたり、最悪の場合、命を落とすものがあります。取扱説明書の修理や点検と推奨事項とスケジュールを参照ください。

■安全上の注意

メンテナンスや修理を開始する前にエンジンが停止していることを確認してください。これにより以下の潜在的な危険が回避されます。

- ① エンジン排気によって一酸化炭素中毒の可能性があります。常に換気が十分であることを確認してください。
- ② エンジンが高熱をもち火傷する可能性があります。触れる前に時間をおき冷やしてください。
- ③ 刈刃などの可動部に損傷がある場合、未修理のままエンジンを始動させないでください。

■ガソリンの取扱い

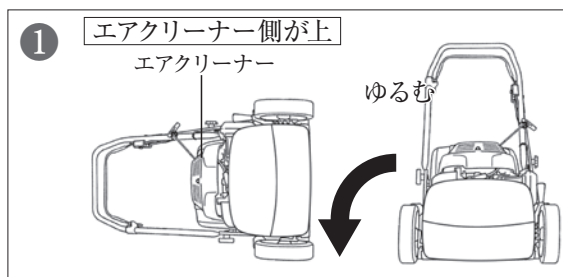
火災や爆発を避けるため、ガソリンを使用する際は細心の注意を払ってください。部品を清掃する場合はガソリン以外の不燃性溶剤のみを使用してください。また、たばこ、火花、炎を燃料関係の部品から離してください。

お買い上げいただきました芝刈り機を安全で快適にお使いいただくために定期点検を行いましょ。

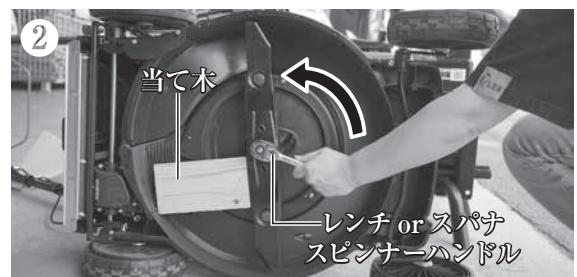
点検項目	点検時期(3)	作業前 点 検	1ヶ月目 または 初回5時間 運転日	2ヶ月目 または 25時間 運転毎	3ヶ月目 または 50時間 運転日	6ヶ月目 または 100時間 運転日	1年毎 または 200時間 運転日
エンジンオイル	点検	○					
	交換		○		○		
エアクリーナー	点検	○					
	清掃			○ (1)			
	交換						○
刈刃ボルトの締付け	点検	○					
刈刃の状態	点検	○					
収納袋	点検・清掃	○					
本機周りの点検・各部の清掃		○					
レバーの作動	点検	○					
エンジンの作動	点検	○					
点火プラグ	点検・調整					○	
	交換						○
フライホイールブレーキ	点検					○ (2)	
吸入・排気弁のすき間	点検・調整						○ (2)
燃焼室	清掃	250時間運転毎 (2) (4)					
燃料タンク・フィルター	清掃						○ (2)
バッテリー補充電	充電					○	
燃料チューブ	点検	2年毎 (必要なら交換) (2)					

- (1) ホコリの多い所で使用した場合、エアクリーナーの清掃は10時間運転毎または1日1回行ってください。
- (2) 適切な工具と整備技術を必要としますので、お買い上げ販売店またはサービス店で実施してください。
- (3) 点検時期は表示の期間毎または運転時間毎のどちらか早い方で実施してください。
- (4) 表示時間を経過後すみやかに実施してください。

■刈刃の外し方



※後ろから見た図

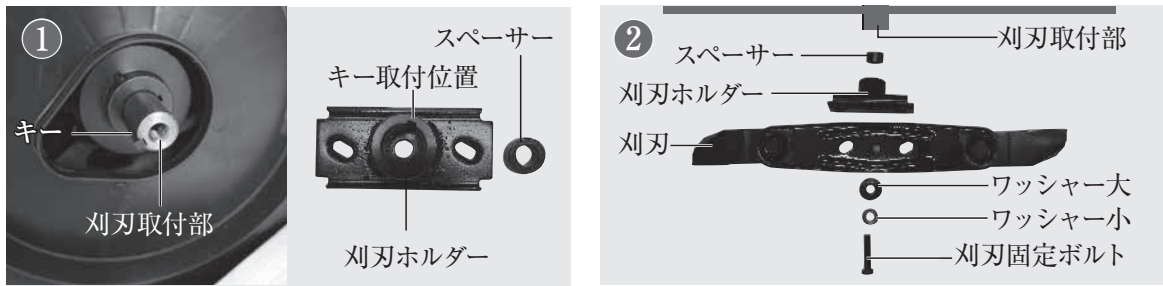


- ① エアクリーナー側が上になる様に本体を倒します。刈刃の周りに土や草が絡みついているようならきれいに清掃してください。
- ② 刈刃固定ボルトを14mmのレンチやスパナやスピナーハンドル等で取り外します。ボルトを取り外す際に刈刃が回転しないように木製ブロック等で固定しながら取り外します。

※刈刃固定ボルトは通常ネジです。

[時計回り: 締まる] [反時計回り: ゆるむ]

■ 刈刃の取付方法



- ① 刈刃ホルダーにスペーサーを入れて、刈刃取付部のキーと刈刃ホルダーのキー取付位置の溝を合わせるようにしてはめ込みます。
- ② 写真の順番に取付けていきます。この時、刈刃と刈刃ホルダの両側の穴の向きが合うように取付けてください。
- ④ 14mm のトルクレンチかスパナで刈刃固定ボルトを増し締めします。
[推奨トルク] 49 ~ 59N-m
14mm のトルクレンチかスパナがない場合は専門の修理店へご依頼ください。

警告 刈刃固定ボルトが既定のトルクで締められていない場合、刈刃が外れ、人を死傷させる可能性があります。ボルトがしっかり締められている事を確認してください。

4

エンジンオイルの交換

■ エンジンオイルの交換

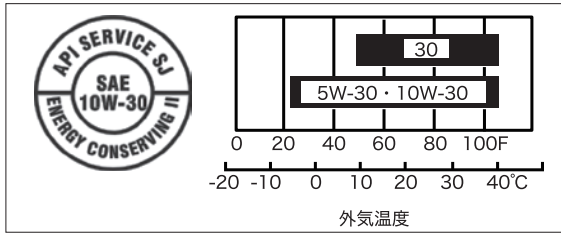
エンジンオイルの交換は、最初の使用から1ヶ月または作業5時間後に交換を行ってください。その後は6ヶ月ごとまたは作業50時間ごとに交換を行ってください。高負荷や温度の高い野外で使用する場合、オイルを頻繁に交換する必要があります。また、必ず推奨オイルを使用してください。オイル交換はオイルが温かいうちに排出するときに素早く交換する事ができます。横転時にデッキや車輪の側面を傷つけないようにするために、段ボールや布を地面にひいておくと効果的です。市販のオイルエキストラクターを使用すると簡単に交換することができます。



- ① オイルエキストラクターなどがある場合はエンジンオイル投入口からオイルを抜き取ってください。オイルエキストラクターなどがない場合は、エアークリーナーを上にして本体を横倒しにし、オイル投入口から排出してください。
 - ② 推奨オイル【SAE 10W-30】を約 0.6 L 満たしてください。オイルを入れ数分経ってからオイルゲージを使いオイルの量の確認を行ってください。
- (※オイル量の確認方法は「エンジンオイルの点検」(14 ページ) をご参照ください。)

補足 推奨オイル以外のオイルを使用するとエンジンの寿命が短くなり最悪壊れる場合があります。また2ストロークオイルを使用するとエンジンが損傷するので絶対に使用しないでください。

■推奨エンジンオイル



オイルは性能と耐用年数に影響を与えます。定期点検の目安に従ってオイルを交換してください。

[推奨オイル] SAE 10W-30 [SJ級以上を推奨]

※寒冷地: SAE 5W-30

5

スパークプラグの交換

■スパークプラグの交換



スパークプラグは本体正面のマフラー横にプラグキャップがあるので、キャップを引き抜きプラグを16mmのプラグレンチで取り外します。スパークプラグは6ヵ月(もしくは100時間)ごとの清掃、1年間(もしくは200時間)ごとの交換が目安です。定期的に清掃、交換をしてください。交換の際は推奨スパークプラグと交換してください。

[推奨スパークプラグ] NGK: BKR5ES

CHAMPION: QC12YC

[プラグレンチサイズ] 16mm

6

エアクリナーの交換

エアクリナーがゴミやホコリで目詰まりをしていないかチェックをします。

重要

エアクリナーカバーの取付けは確実に行ってください。取付が悪いと振動でカバーが外れることがあります。

エアクリナーが詰まっていたり、装着しないまま使用しますとエンジンの寿命が著しく早まる原因になります。

■点検

- ①エアクリナーカバーを外します。外す際、マイナスドライバーもしくは6mmのボックスレンチが必要です。
- ②エアクリナーの汚れを点検します。
- ③汚れがひどい場合は、エアクリナーの清掃または交換を行ってください。

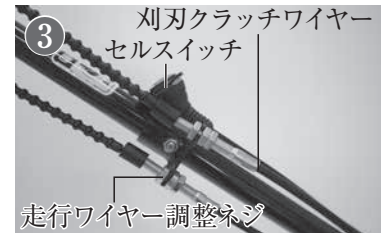


■交換

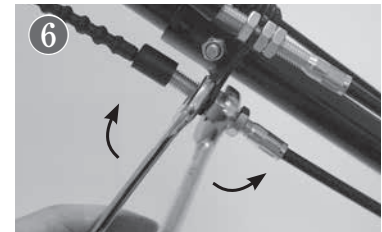
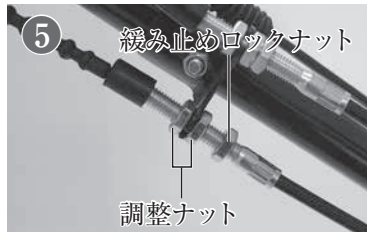
- ①古いエアクリナーを取り外し、周りの汚れを取り除いてください。
- ②新しいエアクリナーを装着してください。
(※新しいエアクリナーをお求めの際は販売店までご連絡ください。)



走行クラッチレバーを握らないのにエンジンが始動と共に前進してしまう、クラッチレバーを握っても走行のする力が弱い（後輪を持ち上げると回転するが地面につくと前進しない）などの場合、ワイヤーの固定位置の調整が必要な場合があります。その場合は下記の通りに調整を行ってください。



- ① 走行クラッチレバーの解放状態の幅をはかります。ハンドルを握らない状態でタイヤがロックされていないことを確認してください。
- ② 走行クラッチレバーを5cm程度握りこんだ状態で後輪がロックされる状態が遊びとして正常な遊び幅になります。それより遊びが多い場合、少ない場合はワイヤーを調整します。
- ③ ワイヤーを調整するには始動スイッチ付近の走行ワイヤー調整ネジで長さを調整します。



- ④ 緩み止めロックナットを緩めます。13mm レンチを2本使って上の緩み止めロックナットの上の調整ナットを抑えながら、下の緩み止めロックナットを緩めると緩めやすいです。
- ⑤ 次に調整ナットを緩めてワイヤー位置を調整します。上下の調整ナットを緩めます。遊びが多い（走行レバーを握っても走行力がない。）の場合は上の調整ロックナット側へ、遊びが少ない（エンジンをかけると走り出してしまう、等）の場合は下の調整ロックナット側へ固定位置を移動します。
- ⑥ 調整位置が決まったら調整ロックナット両側（上の調整ロックナットは時計回り、下のロックナットは反時計回り）から占めて固定します。



- ⑦ 緩み止めロックナットを調整ナットのところまで締めて調整は完了です。



ワイヤー調整方法は
動画でもご覧
いただけます。



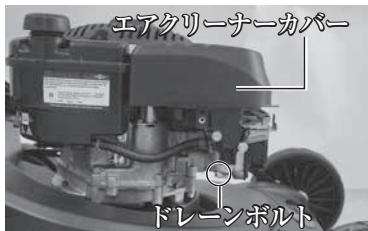
<https://youtu.be/qXM72ZTb6qQ>

1

キャブレター内の燃料排出

- 30日以上使用しないときは、燃料を完全に抜くか、もしくは、事前にメーカー指定の燃料劣化防止剤を燃料に添加してください。通常の燃料をタンク内に入れたままにしておくと、エンジン不良や故障の原因となります。必ず保管時は下記の方法の後、保管をするようにしてください。正常な保管がされていない場合の不具合や故障については保証対象外となりますのでご注意ください。

■ガソリンを抜いて保管する場合



- ① 事前に排出する前にできるだけタンク内の燃料は少なくするようにご注意ください。エアクリーナーカバーの下あたりにキャブレターがあり、ドレーンがあります。排出する燃料の受皿を用意し、10mmの六角レンチでネジを緩めます。キャブレター内、タンク内の燃料がすべて出きったら、ネジを締めなおしておいてください。



2

バッテリー補充電

- ⚠ **注意** 本機を使用しない場合でも、必ず6か月ごとの補充電が必要です。充電を空の状態で放置したり、6か月ごとの補充電を行わない場合、バッテリーの劣化により使用できなくなる場合があります。その場合の不具合については保証対象外となりますのでご注意ください。

バッテリーの充電方法はバッテリーの使用方法 16 頁をご参照ください。

- ⚠ **注意** バッテリーを野外に置くなど、高温の状態では劣化することがあります。使用しないときは、室内の涼しいところに保管してください。
- ⚠ **注意** バッテリーは充電し続けると劣化が早まります。充電が完了したら充電器から外してください。
- ⚠ **注意** 頻繁に充電すると劣化が早まるため、充電量が半分になったら再充電をしてください。
- ⚠ **注意** バッテリーは完全に残量がなくなってしまうと使用できなくなる場合があります。必ず完全になくなる前に再充電を行ってください。

	型式	GC480PRO-B
寸法	全長	1,600mm
	全高	1,020mm
	全幅	560mm
	重量	30kg
エンジン	エンジン名称	BRIGGS & STRATTON 775iS
	排気量	161cc
	エンジンオイル	0.6L
	燃料タンク容量	1.0L
	エンジンタイプ	空冷単気筒 4 サイクルエンジン
	燃料	無鉛レギュラーガソリン
	点火プラグ	NGK : BKR5ES/CHAMPION : QC12YC
	始動方式	セルスタート
	バッテリー型式	593560 10.8V/1.15Ah
芝刈機	走行方式	自走式
	刈幅	480mm
	刈高	20 ~ 80mm (8 段階)
	収集バッグ容量	60L
	刈刃枚数	フリー刃 : 2 枚
	排出方式	グラスバッグ集草・後方排出 (マルチング)

M E M O



パーツリストについては、プラウ ホームページでのご案内となります。

左の QR コードまたは下記 URL からアクセスしてください。

「部品図・パーツリスト」ページ URL

bit.ly/plowparts

発売元 株式会社ホンダワーク

〒943-0173 新潟県上越市大字富岡256-2

お問い合わせ先 ☎025-530-7025

<https://plow-power.com/>